

## ヘリか固定翼かドローンか プラットフォームの選定について何となくのまとめ

- ・面積（撮影時間 / 後作業のボリューム・効率性）

	狭い（数百 m オーダー） → 広い（km オーダー）
プラットフォーム	<b>UAV</b> → <b>小型ヘリ</b> → <b>固定翼</b>
センサ	アクションカム → コンデジ → デジ一眼 → 航空測量用

- ・調査地のロケーション

基地からの距離

基地（八尾、つくば、調布）近くであれば、実機使っても 10 万～ 30 万程度  
辺鄙な場所は、実機は空輸がかかるので割高になってしまう

UAV がそもそも飛行可能か（人家の密集地域、空港周辺は飛行禁止）

- ・必要な解像度

～ 数 cm が必要な時（EX. 農作物など）は UAV  
可視で 10cm ～ 30cm（EX. 植生図など）は実機

※ 全ての評価軸は、コストに関係していて、どこかで逆転する。

※ UAV- 小型ヘリ - セスナ（航測）- **衛星画像** ←衛星も同じく候補にいれるとよいと思います

- ・市町村単位など、面積がとても広いとき
- ・解像度が m オーダーで問題ないとき（EX. 緑被率など）
- ・お金がない時（Landsat 無料とかすごいこと）

スカイマップ株式会社 <http://www.skymap.co.jp/>  
[skm@skymap.co.jp](mailto:skm@skymap.co.jp)

その辺のコーディネータはプロである僕らに聞いてください。